

朝鮮大学の教育

大学は本来、教育、研究、社会貢献などの活動により理論的、実践的に優れた人材を育成する場です。最近では、大学の地域貢献や社会貢献にたいする要求がとくに高まっています。また、教育課程のみならず卒業後の進路においてもいわゆる「国際化」が求められています。

このような大学を取り巻く環境のなかで本学は、朝鮮人としての民族性や正しい歴史観を土台とし、21世紀の同胞社会を築いていけるニューリーダー、祖国の発展と統一に寄与する担い手、さらに東アジアをはじめ世界を舞台に活躍する各分野の専門家を育てます。



同胞社会に貢献します

日本における同胞たちの社会的地位や人権は、戦後60年が過ぎた現在でも決して満足のいくレベルに達していません。それどころか最近では、少子化や格差社会など日本における社会問題に加え、総聯組織や学校などへ向けたさまざまな政治的圧力によって同胞たちの生活も脅かされています。このような環境において同胞たちの権利や生活、教育や福祉を守り同胞民族圏を力強く支えていく担い手が要求されています。本学は、法律分野をはじめ企業経営、教育、介護福祉事業など同胞社会を支えていく新世代の人材の育成を目指しています。

祖国の発展に寄与します

朝鮮民族最大の悲願である祖国の統一と発展は、北南朝鮮に暮らす人々のみならず海外、とくに在日同胞の日本における社会的地位の確立や権利擁護問題の本質的な解決につながります。近年、朝鮮半島を取り巻く情勢は大きく動き出していますが、今後さらなる努力の積み重ねが必要とされています。本学は、これら民族的偉業の達成に特色をもって寄与するハートが熱くスケールの大きい「民族的人材」を育てることを目指しています。

国際社会の平和と繁栄に寄与します

21世紀の国際社会は、朝鮮半島や中国など、東北アジアに大きな関心を寄せています。在日同胞は、日本においてはなにかと不安定な状況に置かれていますが、東北アジア、さらに世界的な視野から見ると大変ユニークな存在であると指摘されています。そのユニークさを国際舞台で発揮するためには、まず朝鮮語を中心とした語学の基礎を築くことが大切です。本学では、質の高いバイリンガル、トライリンガルの育成を通し、在日同胞の国際社会における役割の向上に力を注いでいます。

自己の真の成長を促します

本学では、全寮制による共同生活の中で学生同士の信頼や友情を深めるようにしています。規則正しい共同生活の過程で、他人の立場や考えをよく理解し、豊かな人間性と健全な道徳観を身につけていきます。さらに、芸術、スポーツ、各種学習サークルなどの活動を通じて強い精神力、忍耐力、高い身体能力や芸術性など個々人に合った幅広い才能を伸ばし、民族教育の最終プロセスにおいて「知徳体」を兼ね備えた人材を育てることを目指しています。

特徴

民族教育の最高学府

朝鮮大学校は、祖国の援助のもとにつくられた、在日同胞による在日同胞のための高等教育機関です。日本における同胞社会は、戦後60年が過ぎた現在でも、社会保障などの権利や日常生活においてさまざまな不平等の中にあります。また民族教育を行う過程においてもさまざまな困難を余儀なくされています。このような特殊で複雑な環境におかれながらも、本学は半世紀の間民族性を守り、教育、学術研究、そして地域への貢献を着実に行ってきました。教育に対する社会的関心、要求が高まる今日にあって、民族教育の最高学府としての本学への期待、役割はますます強調されています。

日本において唯一、 世界的にも類を見ない海外同胞大学

本学は、日本のみならず世界的に見ても類を見ない独自性をもった大学です。海外同胞が本国にある大学の分校としてではなく、居住国の援助も受けずに大学を運営しているということは、その特殊性のみならず、在日同胞の起源やこんにちまでの朝鮮と日本との関係を考慮した場合、非常に理解しがたいものかもしれません。しかしこの特殊性こそが、本学並びに卒業生の最大のメリットであり、国際化や多様性の流れの中で自主性と柔軟性を持ち合わせ、民族と国際社会に貢献する秀でた人材が数多く輩出した要因でもあるのです。

全寮制

本学は創立当初から全寮制を敷いてきました。これは、共同生活の中で個々人を真に鍛えようとする本学の教育理念によるものです。日本全国から集まった学生たちは、共同生活の中で助け合い友情を育むと同時に、コミュニケーション能力も日常的に育てられていきます。

カリキュラムに弾力性

2003年度から導入された単位制に加えて、少数単位の授業、ゼミナール形式の演習を増やすことによって、学生のレベルに合わせたきめの細かい指導を行っています。また、上級者向けの朝鮮語、日本語、英語などの語学コースを設け、学生が自由に受講できるようにしています。さらに、朝鮮の文化や歴史、朝鮮舞踊(一部)など独自の民族科目や情報処理をはじめ、様々な技術向上のための科目も取り入れています。

学部・学科構成

政治経済学部

- 政治経済学科
- 法律学科

文学歴史学部

- 語文学科
- 歴史地理学科

経営学部

- 経営学科

外国語学部

- 英語学科
- 日本語学科

理工学部

- 理学科
- 電子情報工学科

教育学部

- 教育学科(4年制 — 男子)
- 教育学科(3年制 — 女子)
- 保育科
- 音楽科
- 美術科

体育学部

- 体育学科

短期学部

- 生活科学科
- ・福祉コース
- 情報経理科

研究院

- 総合研究科
- 専修科
- 予科

研究所

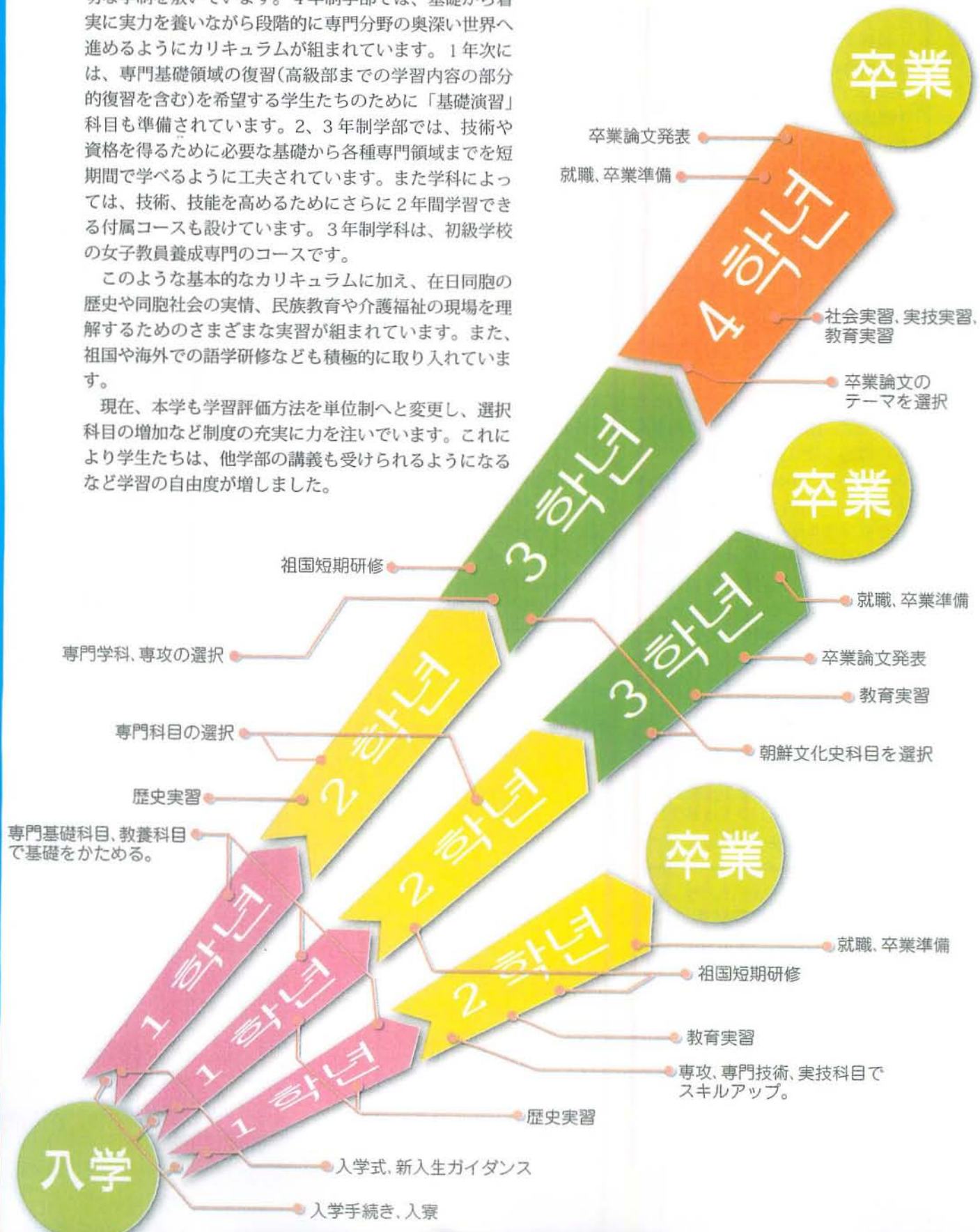
- 民族教育研究所
- 自然科学研究所
- 社会科学研究所
- 朝鮮語研究所

教育課程

本学では、学生たちがそれぞれの専門知識や実技能力の向上、技術習得や資格取得などの学習目的に応じた適切な学制を敷いています。4年制学部では、基礎から着実に実力を養いながら段階的に専門分野の奥深い世界へ進めるようにカリキュラムが組まれています。1年次には、専門基礎領域の復習(高級部までの学習内容の部分的復習を含む)を希望する学生たちのために「基礎演習」科目も準備されています。2、3年制学部では、技術や資格を得るために必要な基礎から各種専門領域までを短時間で学べるように工夫されています。また学科によっては、技術、技能を高めるためにさらに2年間学習できる付属コースも設けています。3年制学科は、初級学校の女子教員養成専門のコースです。

このような基本的なカリキュラムに加え、在日同胞の歴史や同胞社会の実情、民族教育や介護福祉の現場を理解するためのさまざまな実習が組まれています。また、祖国や海外での語学研修なども積極的に取り入れています。

現在、本学も学習評価方法を単位制へと変更し、選択科目の増加など制度の充実にも力を注いでいます。これにより学生たちは、他学部の講義も受けられるようになるなど学習の自由度が増しました。

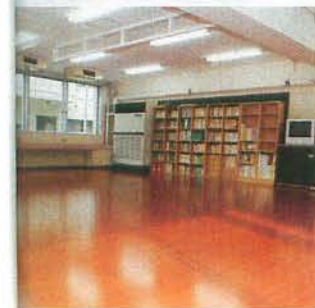




図書館



第1グラウンド



自然に恵まれたキャンパスをリニューアル

武蔵野の面影が残る東京郊外の学園都市一小平。

四季の彩りを映し出す玉川上水のほとりに、2万坪の敷地と各種設備をそなえた本学があります。祖国からの教育援助費により記念すべき校舎が建てられた頃のこの地域は、樹木の生い茂る一面の原野でしたが、現在は隣接する武蔵野美術大学や白梅短期大学、津田塾大学などのキャンパスが集まる閑静な学園地区となっています。豊かな自然と落ち着いた環境は学生生活の忙しさを時として忘れさせてくれる絶好の環境といえます。特に本学に沿ってつづく玉川上水脇の散策路は、都内有数の景勝地としてまたジョギングや散歩のコースとして人々のいこの場となっており、晴れた日には近郊からも多くの人々が訪れています。

学内には、創立期に学生自らが建設に参加した講堂や寄宿舎をはじめ、近代的設備を整えた研究棟、さまざまな実験室やゼミ教室、常時高速ネットに接続され自由に使える

コンピュータ室、朝鮮問題に関する貴重な資料など約10万冊以上の蔵書を誇る図書館など、学問を心行くまで堪能できる充実した施設が整っています。また、体育館やテニスコートがあるのはもちろん、人工芝を敷き詰めた運動場には、夜間照明も設置されています。

全寮制の本学には、学生たちの生活上の便宜とニーズを満たす設備が整っています。清潔感あふれる寄宿舎、広々とした食堂と大浴場、シャワー室、24時間体制で患者に対処する医療ケアシステム、学生たちの各種イベントに利用できる娯楽室、書籍・文具・日用品などを扱う売店、安価で利用できる理髪店があります。

本学は、学父母たちが安心して子弟を任せられる施設と管理システムを備え、学生たちが楽しく学び生活できる理想の環境を整えることに最大の関心を払っています。



③



①



②

社会貢献

同胞障がい者支援活動

本学の学生によって作られた同胞障がい者支援活動の拠点ともいえるボランティア組織が「TUTTI」です。「TUTTI」は、本学学生と障がいを持つ子供との音楽を通じた遊びの場、交流の場です。子供たちは、学生と楽器を演奏したり、一緒に遊んだりする過程で民族的情緒や自負を抱くようになります。

ここに参加している学生は、この活動に自発的に参加することによって、障がいを持つ子供たちと互いに手を取りながらコミュニケーションする力をつけるとともに、より豊かな人生観を養う上で貴重な機会を得ています。この活動を通じて学生と障がいを持つ子供との間には真の友情が芽生え、同胞愛が育まれていきます。

同胞育児・教育支援活動

本学の学生は、総聯の傘下団体がおこなっている同胞家族の育児支援活動を積極的にサポートしています。

保育科と演劇部の学生は、「ウリウリコッボンオリ」のコンサートに出演するために日本全国を飛びまわっています。また教育学科の学生は、毎年「トト理科教室」を開き朝鮮学校初級部の子供に科学や実験の楽しさを教えています。サッカー部も夏休みに「サッカー教室」を開設し、大学を訪れる初級部の学生にサッカー指導を行っています。

本学の学生は、この他にも各地域で行われている「児童教室」、「ブンムルノリ(民族打楽器)教室」の講師として出演するなど幅広く活動しています。

① TUTTI コンサート

② 2007学年度「トト理科教室」参加者

③ 2007年6月「ウリウリコッボンオリコンサート」(写真は歌のお姉さんを務めた教育学部保育科2年(当時)、シン・リナさん)



KJC 活動



小平市民まつり



高麗野遊会



地域貢献

本学の学生は地域に密着した課外活動も積極的に行っています。学生委員会が推進する「朝・日大学生友好ネットワーク」活動の一環として、KJC(小平上水クリーンズ)を立ち上げ、本学脇を通る玉川上水沿いの遊歩道の清掃を行なっています。

毎年行われている文化祭には近隣住民を招き、朝鮮文化に接してもらいながら友好の絆を深めています。本学創立50周年記念行事(2006年度)の際には小平市長も来訪し、祝賀のメッセージを述べました。また、芸術サークルを中心に近隣の大学や高等学校などの学園祭に出演し、朝鮮文化を紹介するなど、文化交流も活発に行なっています。

この他、地域のハンゲル講座の講師や「朝・日親善高麗野遊会」での日本人々との交流、近隣の日本の大学との交流など多種多様な活動を行なっています。



卒業後の進路

本学では、入学直後から学生が自らの進路について深く考え、大学生活を確固たる目標を持って送れるよう、全学一丸となったシステムで進路指導、就職斡旋を行なっています。

進路指導は、専攻過程に入った早い段階で本人の希望を担当教員が確認し、度重なるコンサルティングを経て、本人の希望と

能力に応じた就職先を幅広く紹介、斡旋しています。

卒業生は教育、金融、経済、出版、通信、保険、芸能、スポーツなど同胞社会の幅広い分野に就職しています。本学は同胞組織の協力を得ながら、全国的な同胞ネットワークをフルに活用して、いろいろな分野の同胞企業の人材リクルートにも積極的に協力しています。

本学卒業生の中にはその確かな専門知識と豊かな人間性、独創的な思考、感覚などが高く評価され、日本の有名企業に就職した者もたくさんいます。また、国際感覚を磨き、外資系の企業で働く卒業生もいます。

今日のような世界の趨勢の中で、朝鮮大卒業生の魅力は今後ますます注目を浴びることでしょう。

